

7) 外側のフレームにネットを通す。

ネットの下部はL字アングルに通すか、ビニールパイプを通してL字アングルに針金等で固く固定する。



8) ネットの上部にビニールパイプとロープを使った引き上げ棒を入れ、入り口側のL字アングルをガイドレールにして、ネットを引き上げることができるようにする。



ロープは輪が縮まないようにもやい結び等で締める

9) アイボルトとL字アングルを組み合わせ、入り口の上端各1カ所に土嚢を吊り下げるためのハンガーを作る。

ハンガーは衝撃がかかるので、強度を増すためにL字アングルを二重にする。



10) 引き上げ棒のロープにつけたナス環(スナップフック)とワイヤーを介して土嚢(重量 5~7kg)を吊り下げる。



ナス環は、わなが引き上げられた際にアイボルトにはまり込み、ロックの役割を果たす (別図参照)



11)土嚢を引き上げるためのロープを囲いわなの中央部にとりつけたトリガー部に固定する。

ロープは重りの土嚢が回転するのを防ぐために燃ったロープではなく 16 打のナイロンロープを使用した。

ロープのトリガー側にはプラスチックチェーンをつけ、バネ式ねずみ取り(トリガー)と結ばれたペグ(打込丸環)がチェーンの張力を支え、土嚢を固定する仕組みとする。

引き糸にシカが接触すると、ねずみ取りが作動し、ペグが引かれると同時に、チェーンの固定が解かれ、土嚢が落下する。

チェーンは、トリガーのセットを行う際に、フレームに取り付けた金具に引っかけて仮止めができるようにする。

下図にチェーンのかけ方と、トリガーが作動して土嚢が落下ゲートのネットが引き上げられる仕組みを示した。

